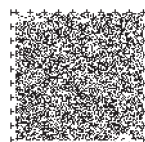


Fukuoka Asian Art Museum

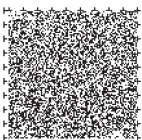
福岡アジア美術館

施設拡充等基本計画



目次

はじめに	1
第1章 アジア美術館の現状と課題	
(1) 概要	2
(2) 基本理念	2
(3) これまでの活動	3
(4) これまでのアジア美術館の活動における強みと弱み	4
(5) 施設の課題	6
(6) 当館を取り巻く情勢	7
(7) 施設の拡充について	8
第2章 福岡市における文化芸術振興とミュージアム	
第1節 福岡市のまちづくりと文化芸術振興	10
(1) 福岡市のまちづくりと文化芸術振興	10
(2) 博物館法等の改正による美術館の役割の変化	12
第2節 福岡市における文化芸術振興とミュージアム	13
第3章 アジア美術館の魅力向上の基本的な方針	
第1節 アジア美術館の魅力向上の基本的な方針	14
第2節 これからのアジア美術館の方向性	15
(1) 出会う・気づく - アジア美術と気軽に会う場 -	15
(2) 楽しむ・見つめる - アジア美術を楽しみ、自分や世界を見つめる場 -	16
(3) 伝える・広げる - アジア美術の魅力を発信し、発展に貢献する場 -	16
(4) 創る・挑む - アーティストの創造性を高め、チャレンジを支える場 -	17
第4章 アジア美術館が担う機能と役割	
第1節 アジア美術館の機能分担について	18
第2節 アクセシビリティ	20
第3節 拡充後のアジア美術館の活動	21
(1) 展示	21
(2) 学び・体験	22
(3) 調査研究	23
(4) 収集保存	23
(5) 美術交流 (レジデンス)	24
(6) にぎわい・集客	24
(7) 市民の文化・芸術活動の場	25



第5章 拡充先における施設整備計画

第1節 拡充先の概要	26
(1) 概要・位置と周辺環境	26
(2) 拡充先（警固公園）の特性	28
(3) 土地利用上の法令等の条件	29
(4) 拡充先（警固公園）の既存施設の状況	30
第2節 拡充先における施設整備の基本的な方針	31
(1) まちをつなぎ、人をつなぐ福岡の新たな顔	31
(2) 持続可能で安心、快適な美術館	32
第3節 拡充先の整備計画	33
(1) 地上利用計画	33
(2) 拡充先の機能・諸室	37
(3) 拡充先のゾーニング・動線計画	42
(4) 施設計画の考え方	45

第6章 アジア美術館の管理・運営計画

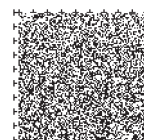
(1) 管理・運営の基本的な方針	48
(2) 拡充先の管理・運営の具体的な考え方	49

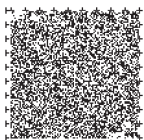
第7章 基本計画の実現に向けた事業手法

(1) 基本的な考え方	52
(2) 設計手法の検討について	53
(3) 事業手法の検討について	53

参考資料	54
------	----

※本計画中の図は、現時点のイメージであり、今後の検討により変更となる場合があります。





はじめに

福岡アジア美術館(以下「アジア美術館」といいます)は、アジアの近現代美術作品を系統的に収集する世界に唯一の美術館として、1999(平成11)年3月に開館しました。

福岡市とアジア近現代美術との関わりは、アジア美術館の母体である福岡市美術館の開館記念展として実施された「アジア美術展」(第1部:1979(昭和54)年、第2部:1980(昭和55)年)にさかのぼります。福岡市美術館での約20年にわたるアジア近現代美術に関する取組みと、蓄積された特色あるコレクションを引き継ぎ開館したアジア美術館では、展示事業、交流事業、教育普及事業などに加え、アジアの現代美術の動向を紹介する「福岡アジア美術トリエンナーレ」を開催するなど、多彩な事業活動を展開してきました。

これまでの活動によって、当館のコレクションは市民の貴重な財産となっていますが、一方で、開館から25年以上が経過し、設備の老朽化や、展示・収蔵スペース不足、気軽に立ち寄れる場所としての認識不足といった課題が出てきています。このため、アジア美術館では、2023(令和5)年度より魅力向上に向けた検討を進めており、これまでの活動や蓄積を継続し、さらに磨きをかけて魅力向上を図るため、施設拡充を行うこととしました。

本計画は、その実現に向けて、アジア美術館の現状や課題を整理するとともに、施設整備や管理・運営の考え方を取りまとめたものです。

